

「サイエンスカフェ in 静岡」第191話（2026年1月22日）

テーマ：「登呂遺跡の実験と科学」

講 師：篠原 和大 先生

（静岡大学人文社会科学部登呂農耕文化研究所 教授）

■ 参加人数 52名

■ アンケート回答人数 38名

■ ご職業

会社員：4	公務員：1	教員：6
自営業：3	主婦・主夫：3	
小学生：1	中学生：1	高校生・高専生：1
大学生・大学院生：0	その他：18	

■ 年齢

19歳以下：3	20歳代：1	30歳代：1	40歳代：1
50歳代：11	60歳代：10	70歳以上：11	不明：

■ ご住所

葵区：10	駿河区：10	清水区：11	焼津市：4
藤枝市：1	島田市：0	富士市：0	浜松市：1
静岡県内その他：1	静岡県外：0		

■ この企画をどのようにお知りになりましたか。（複数回答有）

- ・継続参加による周知：23
- ・静大のサイエンスカフェホームページ：3
- ・サイエンスカフェのポスター（学校や1スで掲示されているもの）：7
- ・SNSを通じて（サイエンスカフェのTwitterを含む）：0
- ・職場などの情報回覧：0
- ・知人の紹介：5
- ・その他：0

■ 講演内容についてのご意見やご感想・質問などをご自由にお書きください。

(20 歳代)

- 考古学の分野として、実験考古学というものがあることを今回初めて知りました。歴史を解き明かしていくためには、実験という教科、横断的な研究が必要である事を改めて実感しました。

(40 歳代)

- 身近にある登呂遺跡だけど知らないことだらけで、楽しいお話が聞けて良かったです。

(50 歳代)

- 安倍川が東(清水方面)に流れていたと考えると、当時の川の流れが気になった。また、洪水で埋もれた話は初耳だった。
- 思っていたより興味深いお話でした。
- 当時の道具を見せて貰ってとてもわかりやすかった。

(60 歳代)

- 登呂遺跡は全国で唯一の集落と水田が一体となる農耕集落とは全然知らなかったです。とても面白かったです。今後が楽しみです。
- 年代測定に関心がありました。登呂の洪水 AD127 とわかったこと。
- 登呂遺跡には 20 年近く行ていなかったので、とてもためになりました。また、行ってみようと思いました。
- 昨年、30 年ぶりに登呂遺跡に行ってきたのでとても興味深い話だった。2000 年前のことの最新科学により分析したり、実際に耕したり、耕さないで実験するのが面白いと思った。話を聞いたうえでまた登呂に行ってみたい。
- 人文の先生で山岡拓也先生の実験考古学の話が静岡新聞に出ていたので、山岡先生の話を聞きたい。キャンパスフェスタで人文なのにプラントオパールを見るために電子顕微鏡を使用するという話は印象に残っています。実験考古学はすばらしい。1 月 18 日に地球環境ミュージアムで北川先生の年代測定の話を聞いたばかりだったので、おもしろかった。背景から説明いただき、ワクワクしながら聴講できました。
- 去年夏に登呂遺跡に行ってとても面白かったので今日のお話がとても楽しみでした。お酒は玄米のまま作るのでしょうか。赤米でしょうか。それもまた、

楽しみです。ありがとうございました。

(70 歳代)

- 今回のプリントは小さくて読めないところが多いです。登呂遺跡は 55 年前中學の遠足できています。樋口先生の本でも親しました。実験考古学を少し理解できました。
- 3 ページ目の安部川は安倍川です。
- 稲刈りは楽しかった。
- 登呂遺跡でこのような米作の実験がなされていることを初めて知りました。当時の復元ということで、手作り農機具全て手で工作、刈り取り、並大抵な労力ではないと思いました。興味深いご講義ありがとうございました。
- 勉強になりました。特に実験考古学。道具類に関心を持ちました。
- 先生の努力によって登呂遺跡が再開発され、全国的にも貴重な遺跡であることがわかり、後世に日本歴史の重要なものとしていくことが、大切なことであると感じました。貴重な講話ありがとうございました
- 登呂遺跡にはずいぶん前に行ったきりなので、今はすごく整備されているようまでまた行ってみたいと思いました。考古学と聞くと出土品で研究と思っていたが、実験考古学という分野は知りませんでした。今日の話は大変面白かったです。これからも新しい発見を楽しみにしています。道具も実際作成したものを見られて良かったです。